

# スポーツ振興対策特別委員会資料

令和2年5月18日（月）

教育委員会

---

## 目次

第81回国民スポーツ大会に向けた競技力向上対策の取組について

・・・・・・・・・・ 1

## 第81回国民スポーツ大会に向けた競技力向上対策の取組について

スポーツ振興課

### 1 本県の競技力の現状

過去5年間の天皇杯順位は40位前後で推移している。少年・女子選手の安定した競技力に乏しい、成年種別の有望選手が不足している、推進体制や練習会場等の環境が十分整備されていない等の課題が山積しており、その対策が喫緊の課題である。

### 2 競技力向上対策の取組

天皇杯獲得を目指し、全県を挙げた官民一体による対策本部を設置し、総合的な競技力向上対策をまとめた基本計画に基づき、積極的に推進していく。

#### (1) 推進体制の整備・充実

競技力向上対策を効果的に展開するための推進体制の整備・強化や、競技団体・学校体育団体等の連携の充実等に取り組む。

##### (主な取組内容)

- 競技力向上対策本部体制の構築
- 競技団体等の意識改革・組織強化や連携充実

#### (2) 選手の発掘・育成・強化

全国で活躍できる少年・成年選手の競技力向上に向け、有望選手の発掘や育成、強化等に取り組む。

##### (主な取組内容)

- 少年種別の主力となるジュニア有望選手の発掘・育成、強化支援
- 有望中学・高等学校の強化指定校制度充実等による少年種別の強化
- ふるさと選手支援、有望社会人アスリート確保等の取組による成年種別の強化  
→【新規事業：社会人アスリート等確保事業】
- 競技人口の少ない未普及競技の強化や女子選手の競技力向上の取組  
→【新規事業：未普及競技選手育成事業（ひむかサンライズプロジェクト）】  
→【改善事業：女性アスリート強化サポート事業】

#### (3) 指導体制の充実・強化

優秀な指導者の養成・確保や、ジュニアから成年までの一貫指導体制の確立など、計画的で効果的な指導体制の充実・強化を図る。

##### (主な取組内容)

- 全国トップレベルのアドバイザー、派遣研修等を活用した指導力の向上
- 教員採用スポーツ特別選考制度等を活用した優秀指導者の計画的な確保

#### (4) 環境条件の整備

競技力向上対策を円滑・効果的に進めるため、練習会場・用具の整備や医・科学サポートの充実など、選手を取り巻く環境条件の整備を図る。

##### (主な取組内容)

- 学校体育施設を含む既存施設の活用に加え、不足している施設等についての計画的な整備  
→【新規事業：練習環境整備事業】
- パフォーマンス向上のためのトレーナー派遣や栄養指導等の医・科学的支援  
→【新規事業：コンディショニングサポート事業】

#### (参考)

##### ○ 本県選手団人数

- ・茨城国体（令和元年度）  
31競技 81種別 359名参加（監督 53名・選手306名）
- ・本県開催年度（令和8年度）～見込み  
37競技137種別 950名程度（監督100名・選手850名）※茨城県選手団参考